



JAのこと、組合員のこと知ってる？

JAとは、農業協同組合の英語表記【Japan Agricultural Cooperatives】(ジャパンアグリカルチュラルコーポラティブズ)の頭文字をとってつけられたニックネームで、協同組合は、同じ目的をもった個人や事業者が集まり、お互いに助け合う組織です。

JAは、農業者を中心とした「組合員」が、農家の営農と生活を守り高めることなど、よりよい地域社会を築くことを目的にさまざまな活動を展開しています。組合員は、農協法により「正組合員」と「准組合員」に分かれます。

* 正組合員と准組合員の違いとは？

准組合員には議決権や選挙権などがなく、JAの運営に直接関与することができません。そのため、現在の制度ではJAの運営は正組合員が中心となっています。准組合員みなさまからの声もJAの運営に反映させる取り組みとして、LINEなどでアンケートを実施しました。

JAの正組合員と准組合員の違い

<p>正組合員 = 農業者</p> <p>農業を通じて地域を豊かにする</p>	<p>准組合員 = 非農業者</p> <p>農作物を食べて地域農業を支える</p>
--	--

* 准組合員は農業の応援団

准組合員は、正組合員とともに地域農業や暮らしを支える組合員であり「農業の応援団」と考えています。農業の応援団とは、地元農産物の購入などによる「食べて応援」といった活動を通して、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を後押しするものです。直売所に行ってみると、JAや地域農業を知るチャンスが目白押しです。

准組合員=農業の応援団

地元農畜産物を食べて農業を応援しよう

JA共済の地域貢献活動

ラジオカーがおじゃまします

「国消国産」を各地で訴え

JA役員が出演し、旬の農産物の情報を生中継で届けるRSKラジオ「おかやまぐるり国消国産ラジオ」を、昨年7月から11月まで計8回放送しました。県内各地に赴き、現地からリアルタイムで新鮮な情報をお届けしてきました。内藤敏男代表理事組合長は、特産「作州黒^{さくしゅうくろ}」の担い手として活躍する早瀬達哉さんのほ場から中継。季節限定で味わえる大粒のエダマメの魅力を生産者とともに伝えました。

そのほかにも、年間を通じて白桃・桃太郎トマト・ピオーネなどを各産地からJA役員がPR。

JAは「国消国産を考え、直売所に足を運んでもらえるきっかけにしたい」と展望しています。

過去の放送はこちらから視聴できます→



10・11月は国消国産月間

おかやまを食べて農業を応援!!

JA晴れの国岡山 内藤組合長メッセージ



リポーター(中)にインタビューを受ける内藤組合長(右)と早瀬さん

2025年は国際協同組合年です

国連は協同組合を評価・重視し、期待を寄せ、毎年定める国際年に、2025年を「国際協同組合年」と決めました。世界全体で年間を通じて協同組合活動に対して呼びかけや対策を行うものです。協同組合をもっと盛んにして、SDGsをもっと現実のものとするためです。



JA晴れの国岡山の最新情報はSNS公式アカウントをチェック!

<p>LINE</p>	<p>Instagram</p>	<p>X</p>
-------------	------------------	----------

ワクワクする農業と地域の未来を

Harebare

JA-Harenokuni Okayama free paper [晴ればれ]

vol. 010
2025.02
take free



季節のフルーツパフェ



おかやま和牛のローストビーフ丼

厳選したおかやま和牛
直売所で毎朝調達する新鮮野菜



満天豚しゃぶと季節の温野菜

JAブランド肉「満天豚」

なぜ今「国消国産」なのか 日本の食は日本の農業が支える

— 「旬感広場」から「国消国産」を全国へ —



なぜ今「国消国産」なのか

— 日本の食は日本の農業が支える —

昨今の食料・農業・農村をめぐる情勢は、生産資材などの価格高騰、世界的な異常気象、緊迫する中東情勢などにより食料安全保障が重要な課題となっています。

主食である米の確保さえも一時揺らいだことで、身近な問題として如実に表れた「食料の確保」、ひいては「今後の日本の農業の行く末は」という課題。JAグループが提唱する「国消国産」に農家・消費者双方がともに目を向ける時が来ているのではないのでしょうか。

農林水産関係の被害額・・・
2,401億円
(2022)

自然災害

国内外で毎年のように大規模災害が発生し、温暖化による影響も著しく、農業にも多大なる影響を及ぼしています。産地は気候変動に対応できる品種の選定や栽培方法の変更など、食料の安定供給に努めています。

過去最高
9.2%*
(2022)

食料の輸入依存

主要穀物や農業に必要な肥料・飼料なども輸入に依存しています。国際情勢の緊迫化や世界的な物流混乱、為替相場の変動などで、輸入している食料や肥料・飼料の値段が高くなり安定的な輸入への懸念が高まっています。

*財務省「貿易統計」より算出した農林水産省輸入累計実績による

世界的な人口増加

2050(令和32)年に世界の人口は97億人に増えるといわれており、食料需要量は2010(平成22)年に比べて1.7倍になると予想されています。つまり、世界的に食料が足りなくなる可能性もあり、日本がいつでも安定的に輸入できるわけではないのは明白です。

農家・農地の減少

専業農家の大幅な減少と高齢化が進んでいます。基幹的農業者は2022年の約120万人から約30年後には約30万人に減少すると推計されており、耕作地の減少も続いています。

「晴れの国岡山」をまるごと味わう

旬感広場から国消国産を全国へ



2024(令和6)年12月、岡山県総社市に大型複合施設「旬感広場」がグランドオープン。
「岡山県産食材の「本物」が買える!食べられる!「食と農」の新たな出会いの場」をコンセプトに掲げ、直売所やカフェレストランが一体となった複合施設です。
JAの「食と農」の魅力を発信する新たなランドマークであると同時に、近年急激に変化を遂げる「農業の今」を消費者に正しく理解してもらえる場としての役割を果たしていきます。

◀グランドオープン日に店頭で国消国産をPRする内藤敏男代表理事組合長

県内の新鮮な農畜産物がそろう直売所

① 晴れのち ② 晴れ

「晴ればれ直便」で、地元だけでなく管内の農畜産物を集め、広域JAならではの魅力を発信しています。



地元をはじめ県内各地から生産者のこだわり食材が並ぶ

お客さまのニーズに合わせて用途や好みに応じてブランド肉をカットする対面販売



農家の声

「農は国の根幹なり」を信条に、よりよい食材を適正価格で届けていきたいです。食材を持ってくれている人の笑顔のために栽培しています!



県内の加工品はもとより協同組合間連携で全国各地の特産も取り揃え

お米市場



JA自慢の銘柄をラインナップし、銘柄・量・精米加減を選べる

眺望抜群!

cafe "SORA & SUN" レストラン

県産食材にこだわり、特産「おかやま和牛」などをメインにしたプレートや、「くだもの王国おかやま」ならではの季節のフルーツを使ったパフェやスイーツを提供。子どもと一緒に食事を楽しめる席やメニューもご用意しています。



窓際やテラスからは国指定重要文化財「備中国分寺五重塔」を一望



来店者の声

素材の味に納得してから1階直売所で食材を買えるのは嬉しいポイントです!



満天豚の厚切りトンテキ



県南で岡山ジャージーミルク100%のソフトクリームを食べられるのは当店のみ
(※2023年7月時点)



屋内で野菜を水耕栽培し、cafeレストランで活用

旬感広場
住所:岡山県総社市岡谷23
定休日:年末年始
(直売所・cafeレストランとも)
毎週水曜日(cafeレストラン)
ATM ※ATMの稼働時間は異なりますので、ホームページをご確認ください。

農畜産物直売所 晴れのち晴れ
TEL:0866-93-2338
営業時間:8:30~17:00

cafeレストラン "SORA & SUN"
TEL:0866-31-8092
営業時間:8:30~17:00(L.O.16:30)
ランチタイム:11:00~14:00(L.O.13:30)
客席数:70席



旬感広場の最新情報はInstagram公式アカウントをチェック!